

## 記載例

(届出書類はフォントを変えているところを記入してください。)

# 公共下水道使用開始（変更）届（様式第4）

下水道法の規定により、「1日最大排水量50m<sup>3</sup>以上の下水」又は「政令で定める水質（別表）の下水」を排除しようとする場合の届出書です。

あらかじめ届出をお願いします。

届出先

〒601-8116

京都市南区上鳥羽鉾立町11番地3

京都市上下水道局下水道部施設課水質指導担当

(京都市上下水道局総合庁舎3階)

電話 075-672-7829

E-Mail: g.suishitsushido@suido.city.kyoto.lg.jp

## 別紙

### 水質基準表

工場・事業場が下水道を使用する場合で、次のいずれかに該当するときは、事前に「公共下水道使用開始（変更）届（様式第4）」の届出をして下さい。

- (イ) 1日の最大排水量が $50\text{m}^3$ 以上の下水を排除しようとする場合。  
(ロ) 次の表の水質基準に1項目でも該当する下水を排除しようとする場合。

#### 別表

項 目	基 準 値
温 度	40℃以上
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量	125mg/L 以上
水 素 イ オ ン 濃 度 (pH)	5.7 以下又は 8.7 以上
生 物 化 学 的 酸 素 要 求 量 (BOD)	300mg/L 以上
浮 遊 物 質 量 (SS)	300mg/L 以上
窒 素 含 有 量	150mg/L 以上
磷 含 有 量	20mg/L 以上
そ の 他 の 項 目 又 は 物 質	別ファイル 「京都市の排水基準」※ に示す数値を超えるもの。

※京都市上下水道局ホームページ：「事業者のみなさまへ」▶「事業場排水の規制」▶「水質規制について」▶「3. 排水基準」のページの「京都市の排水基準」（PDF ファイル）をご覧ください。

公共下水道使用開始（変更）届

令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

（あて先）

京都市公営企業管理者上下水道局長

（申請者）

住 所 京都市〇〇区〇〇通り〇〇下る 電話番号 075-222-0000  
氏名又は名称及び法人にあ 〇〇町〇番地  
ってはその代表者の氏名 株式会社 △△自動車  
代表取締役 水質 太郎

次のとおり公共下水道の使用を開始（変更）するので届け出ます。

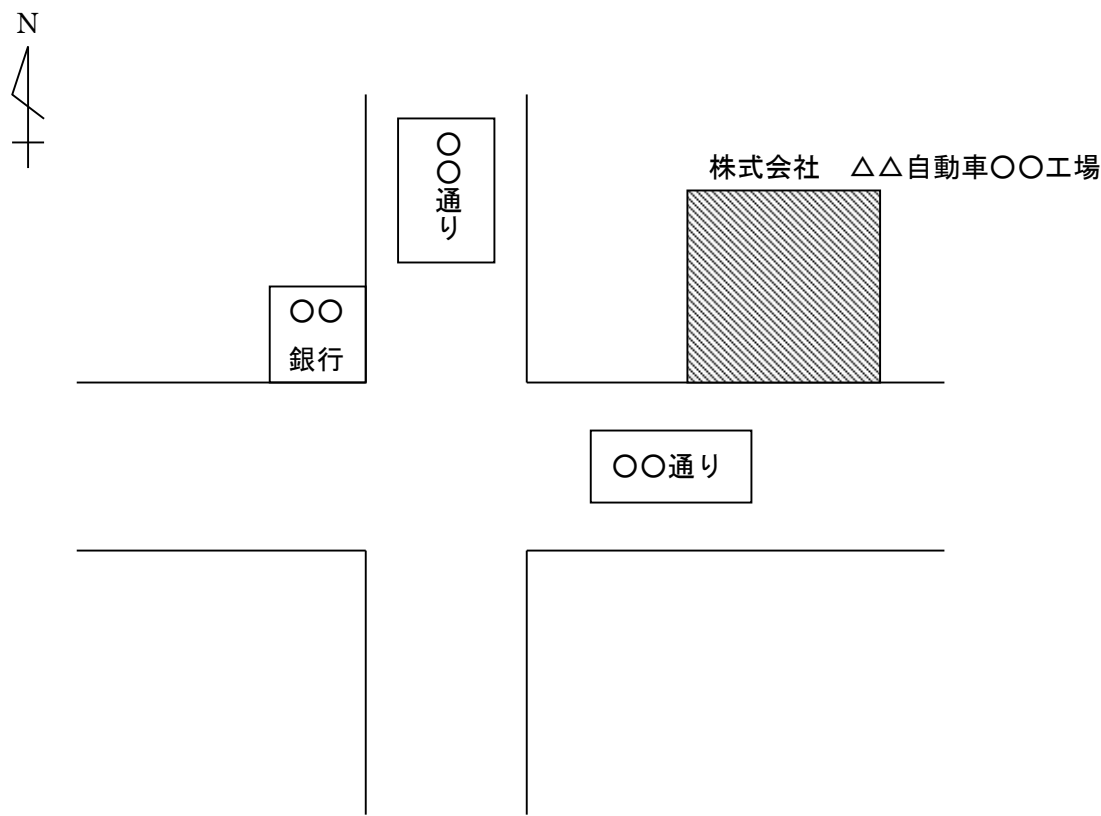
排 除 場 所	京都市〇〇区〇〇△△町〇-〇 株式会社 △△自動車〇〇工場		排 水 口 数	2	
排 出 汚 水 の 水 量 又 は 水 質	水 量	月平均 〇〇〇 立方メートル	日最大 △△△ 立方メートル	水 質	下記のとおり
開始（変更）年月日	令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日				
処 理 方 法	加圧浮上分離法		施 設 名 称	整備場排水処理施設	

記

排水口 月量 項 目		単位	1	2	排水口 月量 項 目		単位		
			m <sup>3</sup> 〇〇	m <sup>3</sup> △△				m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
温 度		℃			四 塩 化 炭 素		mg/l		
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量		mg/l			1, 2-ジクロロエタン		mg/l		
					1, 1-ジクロロエチレン		mg/l		
水 素 イ オ ン 濃 度		水素指数	5.1以上8.9以下		シス-1, 2-ジクロロエチレン		mg/l		
生物化学的酸素要求量		mg/l	600以下		1, 1, 1-トリクロロエタン		mg/l		
浮 遊 物 質 量		mg/l	600以下		1, 1, 2-トリクロロエタン		mg/l		
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	鉱 油 類	mg/l	4 以下		1, 3-ジクロロプロペン		mg/l		
	動植物油脂類	mg/l			チ ウ ラ ム		mg/l		
窒 素 含 有 量		mg/l			シ マ ジ ン		mg/l		
磷 含 有 量		mg/l			チ オ ベ ン カ ル ブ		mg/l		
沃 素 消 費 量		mg/l			ベ ン ゼ ン		mg/l		
カドミウム及びその化合物		mg/l			セレン及びその化合物		mg/l		
シ ア ン 化 合 物		mg/l			ほう素及びその化合物		mg/l		
有 機 磷 化 合 物		mg/l			ふつ素及びその化合物		mg/l		
鉛 及 び そ の 化 合 物		mg/l			1, 4-ジオキサン		mg/l		
六 価 ク ロ ム 化 合 物		mg/l			フ ェ ノ ー ル 類		mg/l		
砒素及びその化合物		mg/l			銅 及 び そ の 化 合 物		mg/l		
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物		mg/l			亜鉛及びその化合物		mg/l		
					鉄及びその化合物(溶解性)		mg/l		
アルキル水銀化合物		mg/l			マンガン及びその化合物(Ⅱ)		mg/l		
ポリ塩化ビフェニル		mg/l			クロム及びその化合物		mg/l		
トリクロロエチレン		mg/l			ダ イ オ キ シ ン 類		pg-TEQ		
テトラクロロエチレン		mg/l			ニ ッ ケ ル 含 有 量		mg/l		
ジ ク ロ ロ メ タ ン		mg/l							
摘 要		排水口 2 は雨水のみ							

備考 1. 「摘要」の欄は、排出汚水の水量又は水質の推定の根拠等を記載すること。  
2. 除害施設の設置等を要する場合には、その概要を明らかにする図書及び図面を添付すること。

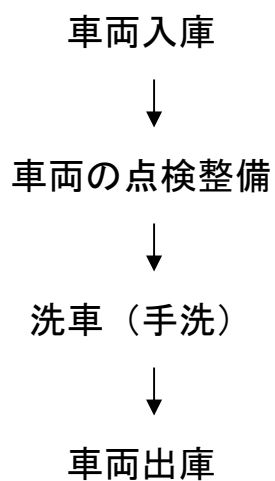
付近見取図



工場全体図  
（主要機械又は主要装置図  
用水及び排水の系統図）

別 紙

# 操 業 系 統 図 （ 製 造 工 程 ）



（注）この紙面に記入できない場合は、別の用紙に記入していただいて結構です。

工 場 ・ 事 業 場 調 査 表

届 出 番 号	*			流入処理場 (処理区)	*		
事 業 場 名	株式会社 △△自動車〇〇工場				T E L	075-000-0000	
所 在 地	京都市〇〇区〇〇△△町〇-〇						
代 表 者 名	代表取締役 水質 太郎				担当者名	工場長 下水 次郎	
業 種	具体的に記入してください						
資 本 金	〇〇〇万円		従 業 員 数	20人		敷地面積	500m <sup>2</sup>
操 業 時 間	午前 8 時 3 0 分 ~ 午後 5 時 1 5 分 ( 8 時間)						
稼働日数	2 2 日 / 月 (工場、事業場の休業日 土曜・日曜・祝日)			検針区使用者コード		000-00000	
用 水 内 訳	上 水 道	〇〇m <sup>3</sup> /日	排 水 状 況	排 水 箇 所 数	2 箇所		特 定 施 設 の 種 類 (号番号および 施設の名称)
	地 下 水 (井戸水)	-m <sup>3</sup> /日		除 害 施 設 排 水 量	〇m <sup>3</sup> /日		
	そ の 他 (河川水等)	-m <sup>3</sup> /日		その他事業場 排 水 量	△m <sup>3</sup> /日		
	合 計 水 量	〇〇m <sup>3</sup> /日		生活雑排水量	〇△m <sup>3</sup> /日		
	日 最 大 水 量	△△m <sup>3</sup> /日		排水量 (合計)	〇〇m <sup>3</sup> /日		
生 産 内 容			使用薬品及び原材料の内訳			主 要 生 産 品 の 内 訳	
自動車点検整備			種 類	使 用 量	主要生産品目 (種類)		生 産 量
			オイル	〇〇ℓ / 月	自動車点検整備台数		〇台/日
			グリス	△△kg/月			
			洗剤	◇◇ℓ / 月			

注) \*印の欄は記入不要